

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	地域住民と共生するひょうごの都市農業振興事業（令和2年度～）				連絡先	078-362-3444			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	4,404千円		1,486千円		4,217千円		4,363千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	3,494千円		1,193千円		3,600千円		3,600千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	910千円		293千円		617千円		763千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(2,202千円)		(743千円)		(2,108千円)		(2,181千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)		(743千円)		(2,109千円)		(0千円)
		（一般財源）	(2,202千円)		(0千円)		(0千円)		(2,182千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		3,593千円
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		3,078千円
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		219千円
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		296千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		8,018千円		4,956千円		7,778千円		7,956千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[1千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	生産緑地面積(ha) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目標	526	526	526	526	526		
		実績(見込)	506	(505)	(505)	(526)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(16千円)	(10千円)	(15千円)	(15千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	※都市農地の保全を図るため、生産緑地面積の維持を目標	達成率(見込)	96.2%	96.0%	(96.0%)	(100.0%)			
	都市農業の多様な機能の発揮を図る取組み件数(件)(事業実施計画数)	目標	5	5	6	6	6		
		実績(見込)	6	2	(4)	(6)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)	120.0%	40.0%	(66.7%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農地の活用モデルの創出及び都市農業に対する理解促進に取り組むことにより、有効かつ効果的に兵庫県都市農業振興基本計画の実現を図っている。</li> <li>・引き続き都市農地を活用したモデル事例の創出や都市農業の理解促進を図ることにより、目標達成に努める。</li> <li>・生産緑地を有する8市において、地域計画の策定等を重点的に進め、生産緑地面積維持が図られた。令和2年度以降は、市街化区域内農地を有する26市町にも拡充して地域計画策定等に取り組むことにより、生産緑地制度創設と地区指定を促し、目標達成に努める。</li> </ul>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班			
事業名	地域まるごと農地活用体制の構築（令和2年度～）				連絡先	078-362-3407			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	5,900千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0千円			
		委託料	—	—	—	0千円			
		補助金・交付金	—	—	—	5,900千円			
		貸付金	—	—	—	0千円			
		その他需用費等	—	—	—	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	—	(5,900千円)			
		（県債）	—	—	—	(0千円)			
		（その他〔農業構造改革支援基金〕）	—	—	—	(0千円)			
		（一般財源）	—	—	—	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	—	—	1.0人			
			0千円	0千円	0千円	8,983千円			
		職員給与費 a	—	—	—	7,695千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	—	548千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	740千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	—	—	1.0人				
		—	—	—	14,883千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		将来計画策定数（地区数）	目標	—	—	—	100	100	
		実績（見込）	—	—	—	(100)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(149千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—				
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)			
		目標	—	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—			
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	—	—				
評価	<p>・実行性のある農地利用の将来計画作成における地域の課題解決のための専門家派遣経費を支援することにより、将来計画作成を加速化させ、活用すべき農地を地域全体で保全・活用する姿の実現を目指す。</p>								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	地域直売所整備促進事業（平成21年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	9,676千円		6,056千円		21,280千円		19,786千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	9,426千円		5,795千円		21,000千円		19,500千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	250千円		261千円		280千円		286千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(4,838千円)		(3,028千円)		(10,640千円)		(9,893千円)
		（県債）	(4,200千円)		(2,600千円)		(9,400千円)		(8,700千円)
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)		(130千円)		(140千円)		(0千円)
		（一般財源）	(638千円)		(298千円)		(1,100千円)		(1,193千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		3,593千円
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		3,078千円
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		219千円
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		296千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		13,290千円		9,526千円		24,841千円		23,379千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		農産物直売所の利用者数(千人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目 標	24,800	25,700	26,600	27,400	31,800	
		実績(見込)	26,012	27,651	(27,651)	(27,400)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(0千円)	(1千円)	(1千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	104.9%	107.6%	(104.0%)	(100.0%)			
	直売所向け生産活動支援件数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	9	9	9	9	9		
		実績(見込)	11	6	(7)	(9)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	(1,208千円)	(1,588千円)	(3,549千円)	(2,598千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	122.2%	66.7%	(77.8%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物直売所の魅力向上及び情報発信を行い、県産県消の一層の推進を図る上で有効である。</li> <li>・ 受益者にも応分負担を求めており、事業コストは適正である。</li> <li>・ 直売所の魅力向上や周知に努めた結果、農産物直売所の利用者数・参加農家数は増加しており、目標達成に向け効果的に事業を推進する。</li> </ul>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		農業経営課担い手対策班			
事業名		地域の担い手定着応援事業(令和元年度～) (就農スタートアップ支援事業(平成24～30年度))			連絡先		078-362-3406			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		3,680千円		1,156千円		7,640千円		7,642千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	3,000千円		950千円		6,750千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		7,642千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	680千円		206千円		890千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(1,840千円)		(578千円)		(3,820千円)		(3,821千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[地域創生基金])	(1,840千円)		(578千円)		(3,820千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(3,821千円)	
	人件費②(a+b+c)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円	
	職員給与費 a		7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円	
	賞与引当金繰入額 b		545千円		548千円		545千円		548千円	
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円		
総コスト(①+②)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		12,717千円		9,833千円		16,544千円		16,625千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[3,300千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	支援対象新規就農者数/年間		目標		26	26	40	40	40	
			実績(見込)		12	4	(14)	(40)	【毎年度】	
			(単位当たりコスト)		(1,060千円)	(2,458千円)	(1,182千円)	(416千円)		
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
	達成率(見込)		46.2%	15.4%	(35.0%)	(100.0%)				
	新規就農者数/年間(人) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目標		400	400	400	400	400	
			実績(見込)		279	256	(400)	(400)	【7年度】	
			(単位当たりコスト)		(46千円)	(38千円)	(41千円)	(42千円)		
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率(見込)		69.8%	64.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家子弟に比べ、地域との繋がりが薄く、生活・営農両面における継続的な支援を得ることが困難な非農家出身の新規就農者が、就農初期に抱える諸問題を解決できる環境を整える必要がある。</li> <li>・地域の指導的立場にある農業者等に委託し、またその指導的農家が的確に後見人活動できるよう、普及センター等関係機関の連携によりフォローを行い、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努める。</li> </ul>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課担い手対策班			
事業名	農業次世代人材投資資金の活用促進事業（平成24年度～）				連絡先	078-362-9194			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①		312,669千円	302,772千円	499,502千円	465,002千円			
	経費内訳	報酬・賃金	1,398千円	1,620千円	1,620千円	1,334千円			
		委託料	513千円	513千円	513千円	523千円			
		補助金・交付金	309,176千円	298,935千円	495,033千円	460,533千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	1,582千円	1,704千円	2,336千円	2,612千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）		(312,669千円)	(302,772千円)	(499,502千円)	(465,002千円)		
		（県債）		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[ ]）		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）		従事人員 1.2人	従事人員 1.2人	従事人員 1.2人	従事人員 1.2人	従事人員 1.2人		
			10,844千円	10,413千円	10,685千円	10,780千円			
	職員給与費 a	9,409千円	9,379千円	9,250千円	9,234千円				
	賞与引当金繰入額 b	654千円	658千円	654千円	658千円				
退職手当引当金繰入額 c	781千円	376千円	781千円	888千円					
総コスト（①+②）		従事人員 1.2人	従事人員	従事人員 1.2人	従事人員	従事人員			
		323,512千円	313,185千円	510,187千円	475,782千円				
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	新規就農者数／年間(人) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	400	400	400	400	400		
		実績(見込)	279	256	(400)	(400)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(1,160千円)	(1,223千円)	(1,275千円)	(1,189千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	69.8%	64.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	-	目 標	-	-	-	-	-		
		実績(見込)	-	-	-	-	-		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)	-	-	-	-					
評 価	<p>・青年農業者の確保と定着のため、就農前後の所得を確保する必要がある。</p> <p>・就農前後の所得の確保支援は、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着促進につながるため有効である。</p> <p>・市町、農業改良普及センター、楽農生活センター、農業大学校等関係機関との連携により、交付対象者の選定や交付期間中のフォローを行い、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努める。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	農業経営課担い手対策班、 集落農業活性化班				
事業名	新規就農者の確保（平成28年度～）			連絡先	078-362-3406・4035				
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	359,617千円	182,230千円	245,442千円	263,793千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	357,875千円	180,494千円	242,756千円	261,142千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	1,742千円	1,736千円	2,686千円	2,651千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(134,531千円)	(91,115千円)	(121,703千円)	(131,896千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔地域創生基金〕）	(0千円)	(91,115千円)	(121,704千円)	(131,897千円)			
		（一般財源）	(225,086千円)	(0千円)	(2,035千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人
			26,208千円	25,163千円	25,822千円	26,051千円			
	職員給与費 a		22,739千円	22,666千円	22,353千円	22,316千円			
		賞与引当金繰入額 b	1,581千円	1,589千円	1,581千円	1,589千円			
退職手当引当金繰入額 c		1,888千円	908千円	1,888千円	2,146千円				
総コスト（①+②）	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	
		385,825千円	207,393千円	271,264千円	289,844千円				
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[2,035千円]	[19,700千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		新規就農者数/年間(人) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	400	400	400	400	400	
		実績(見込)	279	256	(400)	(400)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(1,383千円)	(810千円)	(678千円)	(725千円)	/		
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
		達成率(見込)	69.8%	64.0%	(100.0%)	(100.0%)			
		新規参入企業数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	20	20	20		20	
		実績(見込)	14	19	(20)	(20)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	(27,559千円)	(10,915千円)	(13,563千円)	(14,492千円)	/		
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
	達成率(見込)	70.0%	95.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評 価	<p>農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化しており、新規就農者の確保・育成及び意欲ある企業等の農業参入を図ること並びに初期投資への支援による経営発展を進めることが必要である。</p> <p>本事業により、</p> <p>①県外からの就農希望者の確保を図るとともに、就農希望者向けのインターンシップの実施、雇用就農者の独立を支援すること</p> <p>②企業が農業参入する場合に必要な農業生産から加工、販売における支援を実施すること</p> <p>③新規就農者の円滑な就農・地域への定着、農業法人の経営発展、雇用創出のため、小規模でも安定的な収入が得られる施設園芸の導入を促進すること</p> <p>は、農業人材の育成・確保を図る上で有効である。</p>								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班				
事業名	集落営農組織育成総合対策事業(平成22年度～)				連絡先	078-362-3409				
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①		46,904 千円	18,293 千円	18,593 千円	19,180 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	11,880 千円	11,715 千円	11,880 千円	11,021 千円				
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
		補助金・交付金	30,367 千円	3,600 千円	3,231 千円	3,231 千円				
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
		その他需用費等	4,657 千円	2,978 千円	3,482 千円	4,928 千円				
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(13,667千円)	(1,045千円)	(1,080千円)	(1,080千円)				
		(県債)	(12,300千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		(その他[地域創生基金繰入金])	(0千円)	(1,045千円)	(1,080千円)	(0千円)				
		(一般財源)	(20,937千円)	(16,203千円)	(16,433千円)	(18,100千円)				
	人件費② (a+b+c)	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人		従事人員	2.0人
				18,074 千円	17,354 千円	17,808 千円	17,966 千円			
		職員給与費 a	15,682 千円	15,632 千円	15,416 千円	15,390 千円				
		賞与引当金繰入額 b	1,090 千円	1,096 千円	1,090 千円	1,096 千円				
退職手当引当金繰入額 c		1,302 千円	626 千円	1,302 千円	1,480 千円					
総コスト (①+②)	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人		従事人員	2.0人	
			64,978 千円	35,647 千円	36,401 千円	37,146 千円				
	[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標		最終目標【年度】		
	集落営農組織数(集落数) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	40	40	40	40		累計1,500 【7年度】		
		実績(見込)	34	15	(40)	(40)				
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(1,911 千円)	(2,376 千円)	(910 千円)	(929 千円)				
		達成率(見込)	85.0%	37.5%	(100.0%)	(100.0%)				
	-	目 標	-	-	-	-		-		
		実績(見込)	-	-	-	-				
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	-	-	-	-				
		達成率(見込)	-	-	-	-				
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農育成員による集落営農の組織化に向けた集落調整等の支援及び集落営農の組織化、広域連携又は後継者育成を目指す集落が実施する研修会や先進地視察等を支援することができる。</li> <li>・集落営農組織化集落数の実績は目標を若干下回ってはいるが、着実にその数を増やしている。</li> </ul>								
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班				
事業名	法人化促進総合対策事業（平成30年度～）				連絡先	078-362-3409				
事業に要するコスト	区分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①		-	55,377千円	101,167千円	101,167千円				
	経費内訳	報酬・賃金	-	0千円	0千円	0千円				
		委託料	-	0千円	0千円	0千円				
		補助金・交付金	-	55,151千円	101,167千円	101,167千円				
		貸付金	-	0千円	0千円	0千円				
		その他需用費等	-	226千円	0千円	0千円				
	(財源内訳)	(国庫支出金)	-	(27,688千円)	(50,583千円)	(50,583千円)				
		(県債)	-	(24,100千円)	(38,700千円)	(38,700千円)				
		(その他[地域創生基金])	-	(910千円)	(7,500千円)	(0千円)				
		(一般財源)	-	(2,679千円)	(4,384千円)	(11,884千円)				
	人件費② (a+b+c)		従事人員	-	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			-	8,677千円	8,904千円	8,983千円				
	職員給与費	a	-	7,816千円	7,708千円	7,695千円				
	賞与引当金繰入額	b	-	548千円	545千円	548千円				
退職手当引当金繰入額	c	-	313千円	651千円	740千円					
総コスト (①+②)		従事人員	-	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		-	64,054千円	110,071千円	110,150千円					
[うち事業拡大分]		-	[0千円]	[0千円]	[0千円]					
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	法人経営体数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目標	-	60	60	60	累計900【7年度】		
			実績(見込)	-	45	(60)	(60)			
			(単位当たりコスト)	-	(1,423千円)	(1,835千円)	(1,836千円)	/		
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
			達成率(見込)	-	75.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	-		目標	-	-	-	-	-		
			実績(見込)	-	-	-	-			
			(単位当たりコスト)	-	-	-	-	/		
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)			-	-	-	-				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営の法人化や人材の雇用、規模拡大などの経営の高度化・多角化を行おうとする農業の担い手を支援することができる。</li> <li>・着実に法人化数は増加している。</li> <li>・令和元年度からは、他産業並みの収益の確保を目指す集落営農法人の設立を目指す経営体に特化した支援も実施することとしており、集落営農の組織化・法人化の一層の促進を図ることができる。</li> </ul>									
3年目の見直し	-									

# 事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご	所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班
事業名	中山間地域等直接支払交付金（平成21年度～）	連絡先	078-362-9198

事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額
	事業費①		763,981千円	763,378千円	770,276千円
経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
	委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
	補助金・交付金	762,936千円	761,626千円	767,521千円	775,019千円
	貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他需用費等	1,045千円	1,752千円	2,755千円	2,932千円
（財源内訳）	（国庫支出金）	(503,600千円)	(502,768千円)	(508,472千円)	(524,419千円)
	（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（その他[ ]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（一般財源）	(260,381千円)	(260,610千円)	(261,804千円)	(253,532千円)
人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
		4,520千円	4,339千円	4,453千円	4,492千円
	職員給与費 a	3,921千円	3,908千円	3,854千円	3,848千円
	賞与引当金繰入額 b	273千円	274千円	273千円	274千円
	退職手当引当金繰入額 c	326千円	157千円	326千円	370千円
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
		768,501千円	767,717千円	774,729千円	782,443千円
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]

事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	中山間地域等直接支払交付金取組面積(ha)(ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目 標		5,140	5,160	5,180	5,200
実績(見込)			5,294	5,298	(5,317)	(5,200)	【7年度】
(単位当たりコスト)			(145千円)	(145千円)	(146千円)	(150千円)	
[うち事業拡大分]			-	-	-	-	
達成率(見込)			103.0%	102.7%	(102.6%)	(100.0%)	
-	目 標		-	-	-	-	
	実績(見込)		-	-	-	-	
	(単位当たりコスト)		-	-	-	-	
	[うち事業拡大分]		-	-	-	-	
	達成率(見込)		-	-	-	-	

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地が有する水源かん養や洪水防止等の多面的機能発揮のため、当制度により農業生産活動を継続し、農地の保全、地域の活性化に寄与している。</li> <li>・単位コストは横ばいで推移しており、今後も効果的な事業実施に努めていく。</li> </ul>
----	---

3年目の見直し	-
---------	---

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	農業経営課集落農業活性化班			
事業名	人・農地プラン・農地集積促進事業（平成24年度～）			連絡先	078-362-3407			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		49,441 千円	17,531 千円	318,524 千円	318,524 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		補助金・交付金	49,180 千円	17,260 千円	318,150 千円	318,150 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	261 千円	271 千円	374 千円	374 千円		
	（財源内訳）	(国庫支出金)	(48,462千円)	(17,395千円)	(317,252千円)	(316,937千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他〔農業構造改革支援基金〕)	(847千円)	(0千円)	(1,085千円)	(1,400千円)		
		(一般財源)	(132千円)	(136千円)	(187千円)	(187千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員		3.0人	3.0人	3.0人	3.0人	
				27,111 千円	26,031 千円	26,712 千円	26,949 千円	
		職員給与費	a	23,523 千円	23,448 千円	23,124 千円	23,085 千円	
		賞与引当金繰入額	b	1,635 千円	1,644 千円	1,635 千円	1,644 千円	
退職手当引当金繰入額		c	1,953 千円	939 千円	1,953 千円	2,220 千円		
総コスト (①+②)		従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人		
		76,552 千円		43,562 千円	345,236 千円	345,473 千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	集落営農組織数(集落数)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	40	40	40	40	累計1,500
			実績(見込)	34	15	(40)	(40)	
			(単位当たりコスト)	(2,252 千円)	(2,904 千円)	(8,631 千円)	(8,637 千円)	/
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
	農地中間管理事業の年間借受・貸付面積(ha)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	2,500	2,500	2,500	2,500	累計25,000
			実績(見込)	449	482	(580)	(2,500)	
			(単位当たりコスト)	(170 千円)	(90 千円)	(595 千円)	(138 千円)	/
[うち事業拡大分]			-	-	-	-		
		達成率(見込)	85.0%	37.5%	(100.0%)	(100.0%)		
		達成率(見込)	18.0%	19.3%	(23.2%)	(100.0%)		
評価	<p>・集落レベルでの話し合いに基づき地域で中心となる担い手及びそれ以外の農業者の役割を明確化し、各地域農業のあり方を記載した人・農地プランを作成、見直しすること及び農地中間管理機構の活用によりプランの内容に沿った農地の集積・集約化をスムーズに行うことが、今後の地域農業の維持発展に重要。</p> <p>・関係機関との連携により、人・農地プランの作成支援や農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を一体的に推進しており、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努めている。</p> <p>・今後は、農地の権利設定が可能となる集落営農組織の法人化促進や、機構法の施行5年後見直しに伴うプランの実質化、新たな協力金制度の有効活用により、担い手への農地の集積・集約化を図っていく。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		農業経営課集落農業活性化班			
事業名		農地中間管理機構集積等支援事業（平成26年度～）			連絡先		078-362-4035			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		109,213千円		108,152千円		166,253千円		163,227千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	101,738千円		101,924千円		156,893千円		154,002千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	7,475千円		6,228千円		9,360千円		9,225千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(156,342千円)		(156,269千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他〔農業構造改革支援基金〕）	(109,188千円)		(108,091千円)		(6,471千円)		(3,518千円)	
		（一般財源）	(25千円)		(61千円)		(3,440千円)		(3,440千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員		3.0人		3.0人		3.0人		3.0人
				27,111千円		26,031千円		26,712千円		26,949千円
		職員給与費	a	23,523千円		23,448千円		23,124千円		23,085千円
賞与引当金繰入額		b	1,635千円		1,644千円		1,635千円		1,644千円	
退職手当引当金繰入額		c	1,953千円		939千円		1,953千円		2,220千円	
総コスト（①+②）		従事人員		3.0人		3.0人		3.0人		
		136,324千円		134,183千円		192,965千円		190,176千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績		30年度実績		元年度見込	
	農地中間管理事業の年間借受・貸付面積(ha)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標		2,500		2,500		2,500	
			実績(見込)		449		482		(580)	
			(単位当たりコスト)		(304千円)		(278千円)		(333千円)	
			[うち事業拡大分]		-		-		-	
			達成率(見込)		18.0%		19.3%		(23.2%)	
			目 標		-		-		-	
			実績(見込)		-		-		-	
			(単位当たりコスト)		-		-		-	
			[うち事業拡大分]		-		-		-	
		達成率(見込)		-		-		-		
評価	<p>・ 担い手への農地集積は着実に進展しているが、本県農業の持続的発展のためには、担い手への農地集積と集約化を更に加速させる必要があることから、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積を一層推進することが必要である。</p> <p>・ 関係機関との連携により、人・農地プランの作成支援や農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を一体的に推進しており、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努めている。</p> <p>・ 機構法の施行5年後(H31年度)見直しによる施策・推進体制の強化とともに、条件不利農地集積奨励事業や地域農地管理事業の活用促進等との相乗効果により、目標達成に努める。</p>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班		
事業名	条件不利農地集積奨励事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-4035		
事業に要するコスト	区分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		5,969千円	5,046千円	28,505千円	28,500千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	5,666千円	4,948千円	28,000千円	28,000千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	303千円	98千円	505千円	500千円		
	（財源内訳）	(国庫支出金)	(2,984千円)	(2,523千円)	(14,252千円)	(14,250千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[地域創生基金])	(0千円)	(2,523千円)	(14,253千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(2,985千円)	(0千円)	(0千円)	(14,250千円)		
	人件費② (a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人		
			9,037千円	8,677千円	8,904千円	8,983千円		
	職員給与費 a	7,841千円	7,816千円	7,708千円	7,695千円			
	賞与引当金繰入額 b	545千円	548千円	545千円	548千円			
退職手当引当金繰入額 c	651千円	313千円	651千円	740千円				
総コスト (①+②)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人			
		15,006千円	13,723千円	37,409千円	37,483千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	農地中間管理事業の年間借受・貸付面積(ha)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	2,500	2,500	2,500	2,500	累計25,000【5年度】	
		実績(見込)	449	482	(580)	(2,500)		
		(単位当たりコスト)	(33千円)	(28千円)	(64千円)	(15千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
	達成率(見込)	18.0%	19.3%	(23.2%)	(100.0%)			
	事業実施面積(ha)	目標	127	127	127	127	127【毎年度】	
		実績(見込)	25	23	(127)	(127)		
		(単位当たりコスト)	(600千円)	(597千円)	(295千円)	(295千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
達成率(見込)	19.7%	18.1%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・本県農業の持続的発展のためには、農地の条件が不利な地域においても農地の集積・集約化を進めることが必要であることから、本事業により農地の集積・集約化の支援と併せて条件不利農地対策を進め、作業性の悪い農地を借受ける担い手を支援することが有効である。</p> <p>・関係機関との連携により、人・農地プランの実質化や農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を一体的に推進しており、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努めている。</p> <p>・規模拡大を図る担い手等に対して本事業を一層PRし、積極的な活用を働きかけるとともに、地域農地管理事業の活用促進等との相乗効果により、優良農地と併せ、条件の悪い農地や分散農地の有効活用を進める。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	農業経営課集落農業活性化班			
事業名	地域農地管理事業（平成29年度～）			連絡先	078-362-4035			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		19,622 千円	18,211 千円	81,804 千円	81,944 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		補助金・交付金	18,985 千円	17,767 千円	80,300 千円	81,049 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	637 千円	444 千円	1,504 千円	895 千円		
	（財源内訳）	(国庫支出金)	(9,811千円)	(9,106千円)	(40,902千円)	(40,972千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[地域創生基金])	(0千円)	(9,106千円)	(40,902千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(9,811千円)	(0千円)	(0千円)	(40,972千円)		
	人件費② (a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人		
			9,037 千円	8,677 千円	8,904 千円	8,983 千円		
	職員給与費	a	7,841 千円	7,816 千円	7,708 千円	7,695 千円		
	賞与引当金繰入額	b	545 千円	548 千円	545 千円	548 千円		
退職手当引当金繰入額	c	651 千円	313 千円	651 千円	740 千円			
総コスト (①+②)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人			
		28,659 千円	26,888 千円	90,708 千円	90,927 千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[5,000千円]	[9,249千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	農地中間管理事業の年間借受・貸付面積(ha)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	2,500	2,500	2,500	2,500	累計25,000【5年度】
			実績(見込)	449	482	(580)	(2,500)	
			(単位当たりコスト)	(64 千円)	(56 千円)	(156 千円)	(36 千円)	/
			[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[9千円]	[4千円]	
	モデル地域数		目 標	10	10	10	10	10【毎年度】
			実績(見込)	10	6	(10)	(10)	
			(単位当たりコスト)	(2,866 千円)	(4,481 千円)	(9,071 千円)	(9,093 千円)	/
			[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[1千円]	[1千円]	
			達成率(見込)	18.0%	19.3%	(23.2%)	(100.0%)	
		達成率(見込)	100.0%	60.0%	(100.0%)	(100.0%)		
評価	<p>・農業就業人口の減少や高齢化により農地所有者が活用しない不耕作農地が増加する中、不耕作農地は、農業生産性の低下に加えて病害虫・鳥獣害の発生の温床となり地域全体に悪影響を及ぼすことから、本事業により不耕作農地の解消と発生を未然防止することが必要である。</p> <p>・地域での話し合いに時間を要し事業活用を翌年度以降に見送るケースや、把握した不耕作農地が分散しているため担い手による借受けに至らなかったケース等あり、実績見込が目標を下回った。</p> <p>・R2年度からは、地域での人・農地プランに係る話し合いの活性化と併せた事業推進を図るとともに、担い手による分散農地の借受けを促進する「インセンティブ」施策等を創設するなど、事業を拡充している。</p>							
3年目の見直し								

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご		所管課班	総合農政課農林水産政策班				
事業名	「農」イノベーションひょうご推進事業（平成26年度～）		連絡先	078-362-9216				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	27,486千円	122,699千円	132,045千円	133,136千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	1,506千円	1,586千円	4,038千円	4,117千円		
		補助金・交付金	25,786千円	120,729千円	127,175千円	128,187千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	194千円	384千円	832千円	832千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(22,180千円)	(118,181千円)	(123,023千円)	(124,114千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)	(4,426千円)	(8,872千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(5,306千円)	(92千円)	(150千円)	(9,022千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人		
			27,111千円	26,031千円	26,712千円	26,949千円		
		職員給与費 a	23,523千円	23,448千円	23,124千円	23,085千円		
		賞与引当金繰入額 b	1,635千円	1,644千円	1,635千円	1,644千円		
退職手当引当金繰入額 c		1,953千円	939千円	1,953千円	2,220千円			
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人			
		54,597千円	148,730千円	158,757千円	160,085千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[17,744千円]	[0千円]			
事業目的の達成度指標	異業種連携から生まれる新たな商品等の開発(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	指標	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		実績(見込)	20	20	20	20	20	
		(単位当たりコスト)	(2,374千円)	(7,082千円)	(7,938千円)	(8,004千円)	【毎年度】	
		[うち事業拡大分]	-	-	[887千円]	[887千円]		
	達成率(見込)	115.0%	105.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	先進的アグリビジネススタートアップ取組件数(事業実施計画数)	指標	7	6	10	10	10	
		実績(見込)	6	8	(8)	(10)	【毎年度】	
		(単位当たりコスト)	(9,100千円)	(18,591千円)	(19,845千円)	(16,009千円)	【毎年度】	
[うち事業拡大分]		-	-	[1,774千円]	[1,774千円]			
達成率(見込)	85.7%	133.3%	(80.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・本県農林水産業を成長産業として育成していくためには、食関連企業はもとより、従来つながりの薄かった多様な分野の事業者や大学等の研究機関との連携を進め、競争力を持った事業展開を推進していく必要がある。</p> <p>・当事業の事業費の大部分は国庫を活用して実施しているほか、農林漁業者等のビジネス活動に直結する新商品開発や販路開拓、加工施設・機械等の導入支援については、事業主にも負担を求めている。（国3/10～1/2、事業主7/10～1/2）</p>							
	<p>・セミナーや交流会をワークショップ形式で実施するなど、参加者の中から効率的に連携を創出できるよう開催している。また、一連の活動から生まれた異業種連携によるプロジェクトのビジネス化を加速化するため、産官学に食関連企業を加えた共同チームの生産・加工等技術開発、新サービスの創出、商品企画等への支援をする。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	消費流通課ブランド戦略班			
事業名	ひょうご農畜水産物ブランド販売戦略事業(平成25年度～)			連絡先	078-362-9213			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		25,340 千円	21,896 千円	24,254 千円	23,935 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		補助金・交付金	24,416 千円	21,088 千円	23,346 千円	23,092 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	924 千円	808 千円	908 千円	843 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(9,502千円)	(10,947千円)	(12,127千円)	(11,967千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[地域創生基金])	(0千円)	(10,949千円)	(12,127千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(15,838千円)	(0千円)	(0千円)	(11,968千円)		
	人件費② (a+b+c)		従事人員 2.5人	従事人員 2.5人	従事人員 2.5人	従事人員 2.5人		
			22,594 千円	21,693 千円	22,261 千円	22,458 千円		
	職員給与費 a	19,603 千円	19,540 千円	19,270 千円	19,238 千円			
	賞与引当金繰入額 b	1,363 千円	1,370 千円	1,363 千円	1,370 千円			
退職手当引当金繰入額 c	1,628 千円	783 千円	1,628 千円	1,850 千円				
総コスト (①+②)		従事人員 2.5人	従事人員 2.5人	従事人員 2.5人	従事人員 2.5人			
		47,934 千円	43,589 千円	46,515 千円	46,393 千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	ブランド戦略策定産地数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	3	2	2	3	累計60【7年度】
			実績(見込)	3	2	(2)	(3)	
			(単位当たりコスト)	(15,978 千円)	(21,795 千円)	(23,258 千円)	(15,464 千円)	/
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
	海外市場開拓数(品目ごとの累計)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	10	10	10	10	累計200【7年度】
			実績(見込)	10	11	(10)	(10)	
			(単位当たりコスト)	(4,793 千円)	(3,963 千円)	(4,652 千円)	(4,639 千円)	/
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
			達成率(見込)	100.0%	110.0%	(100.0%)	(100.0%)	
評 価	<p>・ 産品ごとのブランド戦略の策定・実践を進めるとともに、国内外でのプロモーションを実施することにより、ブランド力向上や販路の開拓や拡大を図ることができる。</p> <p>・ 事業コストの負担割合を県1/2、協議会等1/2として、コストに対し受益と負担の適正化を図っている。</p> <p>・ 全国規模の商談会でのPRや輸出促進関連の事業等を一体的・横断的に実施することにより、効率的な事業実施を行っている結果、順調に目標達成できている。</p>							
3年目の見直し	-							

# 事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご	所管課班	農業改良課普及活動支援班
事業名	ひょうごの元気な「農」創造事業（平成24年度～）	連絡先	078-362-3421

事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	31年度当初予算額	2年度当初予算額
	事業費①		29,000 千円	29,000 千円	29,000 千円
経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他需用費等	29,000 千円	29,000 千円	29,000 千円	29,000 千円
（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（その他[ ]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（一般財源）	(29,000千円)	(29,000千円)	(29,000千円)	(29,000千円)
人件費②（a+b+c）	従事人員	1.3人	1.3人	1.3人	1.3人
		11,748 千円	11,280 千円	11,575 千円	11,678 千円
	職員給与費 a	10,193 千円	10,161 千円	10,020 千円	10,004 千円
	賞与引当金繰入額 b	709 千円	712 千円	709 千円	712 千円
	退職手当引当金繰入額 c	846 千円	407 千円	846 千円	962 千円
総コスト（①+②）	従事人員	1.3人	1.3人	1.3人	1.3人
		40,748 千円	40,280 千円	40,575 千円	40,678 千円
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]

事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	農業改良普及センターの支援により特定の産地について生産・加工・流通・販売・消費を結びつける新しい仕組み（フードチェーン）ができた品目数（地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)）	目 標		26	26	26	26
実績（見込）			13	13	(17)	(26)	【2年度】
（単位当たりコスト）			(3,134 千円)	(3,098 千円)	(2,387 千円)	(1,565 千円)	
[うち事業拡大分]			—	—	—	—	
達成率（見込）			50.0%	—	(65.4%)	(100.0%)	
農業改良普及センターが選定した品目の兵庫県認証食品としての生産量または出荷量(t)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)）	目 標		1,500	1,560	1,630	1,700	累計 1,790
	実績（見込）		1,815	2,112	(2,300)	(2,500)	【3年度】
	（単位当たりコスト）		(22 千円)	(19 千円)	(18 千円)	(16 千円)	
	[うち事業拡大分]		—	—	—	—	
	達成率（見込）		121.0%	135.4%	(141.1%)	(147.1%)	

評価	農業を取り巻く情勢の変化に対応するため、マーケットインの発想で生産指導し、それと併せて出口（流通・販売先）を確保できるよう支援することが不可欠である。この活動により、新たな仕組みづくりができ、新たな需要と特産品が生まれている。
----	---

3年目の見直し	—
---------	---

# 事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご		所管課班		農産園芸課農産班										
事業名		兵庫型スマート農業技術導入による競争力強化推進事業（令和2年度～）		連絡先		078-362-3494										
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額							
	事業費①		-		-		-		10,800千円							
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		-		0千円							
		委託料	-		-		-		0千円							
		補助金・交付金	-		-		-		10,000千円							
		貸付金	-		-		-		0千円							
		その他需用費等	-		-		-		800千円							
	（財源内訳）	（国庫支出金）		-		-		-		(10,000千円)						
		（県債）		-		-		-		(0千円)						
		（その他[ ]）		-		-		-		(0千円)						
		（一般財源）		-		-		-		(800千円)						
	人件費②（a+b+c）		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.4人						
			-		-		-		3,593千円							
	職員給与費 a		-		-		-		3,078千円							
	賞与引当金繰入額 b		-		-		-		219千円							
退職手当引当金繰入額 c		-		-		-		296千円								
総コスト（①+②）		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.4人							
		-		-		-		14,393千円								
[うち事業拡大分]		-		-		-		[0千円]								
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		元年度見込		2年度目標		最終目標【年度】			
	スマートファーム(土地利 用型作物、露地野菜等)利 用面積(累計) (ひょうごスマート農業推進 方針(目標))		目 標		-		-		-		1,000 ha		12,000 ha			
			実績(見込)		-		-		-		(1,000 ha)		【12年度】			
			(単位当たりコスト)		-		-		-		-		[15千円]		/	
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-		-			
	達成率(見込)		-		-		-		-		(100.0%)					
	スマート農業技術を取り入 れた産地営農体系の確立 (累計)		目 標		-		-		-		5産地(箇所)		10産地(箇所)			
			実績(見込)		-		-		-		(5産地(箇所))		【4年度】			
			(単位当たりコスト)		-		-		-		-		(2,879千円)		/	
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-		-			
達成率(見込)		-		-		-		-		(100.0%)						
評 価	<p>・担い手の減少や高齢化が進む中、限られた労働力で生産性向上や効率化、高品質化を図り、本県農業の競争力を強化していくため、基盤となる農地や農業用施設の整備を進めるとともに、本県の多様な営農条件に適した先端技術の積極的な導入・普及を推進していくことが重要である。</p> <p>・兵庫型スマート農業の実証に向けては、国研究機関や民間農機メーカーの開発技術を活用するなど導入効果だけでなく、費用対効果の検証や改善を行っていくことでコスト面での受益と負担の適正化を図っていく。また、実演会においても、本県と民間農機メーカーが技術面、費用面等で相互で協力を図ることで、事業コストの適正化・効率化を図る。</p> <p>・目標達成、単位当たりコストの適正化に向けて、効率的かつ効果的な事業展開を図っていく。</p>															
3年目の見直し	-															

# 事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご		所管課班		農産園芸課花き果樹班		
事業名		ひょうご花き・果樹産地好循環構築事業（平成28年度～）		連絡先		078-362-3449		
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	2,194千円	2,264千円	5,142千円	5,142千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	2,194千円	2,264千円	5,142千円	5,142千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(1,132千円)	(2,571千円)	(2,571千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔地域創生基金〕）	(0千円)	(1,132千円)	(2,571千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(2,194千円)	(0千円)	(0千円)	(2,571千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人		
			3,614千円	3,470千円	3,561千円	3,593千円		
		職員給与費 a	3,136千円	3,126千円	3,083千円	3,078千円		
		賞与引当金繰入額 b	218千円	219千円	218千円	219千円		
退職手当引当金繰入額 c		260千円	125千円	260千円	296千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人			
		5,808千円	5,734千円	8,703千円	8,735千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	花き出荷量 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム〔目標〕）	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
		目標		105,400千本(鉢)	106,600千本(鉢)	107,800千本(鉢)	109,000千本(鉢)	115,000千本(鉢)
		実績（見込）		(81,279千本(鉢))	(106,600千本(鉢))	(107,800千本(鉢))	(109,000千本(鉢))	【7年度】
		（単位当たりコスト）		(0.07千円)	(0.05千円)	(0.08千円)	(0.08千円)	/
		〔うち事業拡大分〕		—	—	—	—	
	達成率（見込）		77.1%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	果樹収穫量 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム〔目標〕）	目標		9,603 t	9,650 t	9,696 t	9,740 t	10,220t
		実績（見込）		10,991 t	(9,650 t)	(9,696 t)	(9,740 t)	【7年度】
		（単位当たりコスト）		(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)	/
		〔うち事業拡大分〕		—	—	—	—	
達成率（見込）			114.5%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県産花き・果樹の競争力を高めて増産に繋ぐことで、生産者の所得向上、経営の安定化・拡大を図ることができる。</li> <li>・新技術や新品種のモデル導入にあたって、農林水産技術総合センターの知見や農業改良普及センターの指導を活用することで、効率的な事業執行を図る。</li> <li>・29年度の花き出荷量は目標を下回っており一層の努力が必要であるが、対前年実績は伸びており今後も継続的に革新的技術やオリジナル新品種等の導入、商談会の開催等新たな需要拡大により産出額の向上に取り組むことで目標達成が期待できる。（29年度（対28年度比）：100.8%）</li> <li>・新技術導入等の成果により、29年度の果樹収穫量は対前年及び目標を大きく上回る実績となった。（H28:10,661t→H29:10,991t）</li> <li>・事業主体にも応分の負担を求めており、適正なコストで実施できているため、引き続き効果的な事業実施に努めていく。</li> </ul>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農産園芸課農産班			
事業名	ひょうごの野菜作導入促進事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-3494			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	-		-		5,000千円		5,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		0千円		0千円
		委託料	-		-		0千円		0千円
		補助金・交付金	-		-		5,000千円		5,000千円
		貸付金	-		-		0千円		0千円
		その他需用費等	-		-		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	-		-		(2,500千円)		(2,500千円)
		（県債）	-		-		(2,200千円)		(2,200千円)
		（その他[ ]）	-		-		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	-		-		(300千円)		(300千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	-		-		0.6人		0.6人
			-		-		5,343千円		5,390千円
		職員給与費 a	-		-		4,625千円		4,617千円
		賞与引当金繰入額 b	-		-		327千円		329千円
退職手当引当金繰入額 c		-		-		391千円		444千円	
総コスト（①+②）	従事人員	-		-		0.6人		0.6人	
		-		-		10,343千円		10,390千円	
	[うち事業拡大分]	-		-		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	野菜生産量（年間） （地域創生戦略事業進捗指標（総括KPI））	目標	-	-	292,800 t	293,500 t	306,000 t		
		実績（見込）	-	-	(292,800t)	(293,500t)	【7年度】		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	[1千円]	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	-	-	-	(100.0%)				
	集落営農組織による野菜生産面積の拡大	目標	-	-	75 ha	81 ha	累計 100ha		
		実績（見込）	-	-	(96 ha)	(103 ha)	【5年度】		
		（単位当たりコスト）	-	-	(108千円)	(101千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）	-	-	(128.0%)	(127.2%)					
評価	<p>・ 水稻中心から野菜等を組み入れた経営転換を図っていく集落営農組織等に対して、栽培技術の習得、効率的な作業体系の構築、販売先の確保等支援をすることにより、将来にわたって安定的・継続的に野菜生産を行うことができ、野菜産地の拡大、新たな野菜産地の育成に繋げる。</p> <p>・ 効率的な技術実証・確立、販路開拓が可能で、試作等にかかる初期投資に対する支援を行い集落営農組織等の負担を軽減し、通常10年以上を要する経営転換から経営安定までに要する期間を約5年の短縮を図ること、適正なコストにより実施することに繋がっている。</p> <p>・ 事業コストの負担割合を県1/2、集落営農組織等の実施主体1/2として実施し、コストに対し受益と負担の適正化を図っている。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		畜産課肉用牛振興班			
事業名		但馬牛繁殖経営安定対策事業（平成28年度～）			連絡先		078-362-3454			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		R2年度当初予算額	
	事業費①		36,085 千円		35,084 千円		37,207 千円		37,209 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	35,896 千円		33,539 千円		35,647 千円		35,649 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	189 千円		1,545 千円		1,560 千円		1,560 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(18,042千円)		(17,542千円)		(18,603千円)		(18,604千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)		(0千円)		(18,604千円)		(18,605千円)	
		（一般財源）	(18,043千円)		(17,542千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員		0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
				3,614 千円		3,470 千円		3,561 千円		3,593 千円
		職員給与費	a	3,136 千円		3,126 千円		3,083 千円		3,078 千円
		賞与引当金繰入額	b	218 千円		219 千円		218 千円		219 千円
退職手当引当金繰入額		c	260 千円		125 千円		260 千円		296 千円	
総コスト（①+②）		従事人員		0.4人		0.4人		0.4人		
		39,699 千円		38,554 千円		40,768 千円		40,802 千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		31年度見込	
	神戸ビーフ認定率（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標）		目 標		75		75		75	
			実績（見込）		82		84		(75)	
			（単位当たりコスト）		(484 千円)		(460 千円)		(544 千円)	
			[うち事業拡大分]		-		-		-	
			達成率（見込）		109.5%		111.9%		(100.0%)	
	神戸ビーフ供給数（地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））		目 標		5,500		5,800		6,200	
			実績（見込）		5,557		5,383		(6,200)	
			（単位当たりコスト）		(7 千円)		(7 千円)		(7 千円)	
			[うち事業拡大分]		-		-		-	
		達成率（見込）		101.0%		92.8%		(100.0%)		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的に神戸ビーフを供給するためには、繁殖雌牛の増頭が必要。</li> <li>・高齢者や小規模農家の廃業が進む中、更なる増頭と規模拡大を図っていくための支援である。</li> <li>・但馬牛子牛の高値価格が続く中、補助単価は据え置いており適正と考える。</li> <li>・規模拡大に向けた取組が進んでいる一方で、飛躍的な増頭に至っていないことから、引き続き支援が必要である。</li> </ul>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	畜産課肉用牛振興班			
事業名	但馬牛受精卵による「神戸ビーフ」供給力強化対策事業(平成28年度～)				連絡先	078-362-3454			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		R2年度当初予算額	
	事業費①	6,000千円		5,730千円		6,450千円		6,450千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	3,420千円		3,420千円		3,450千円		3,450千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	2,580千円		2,310千円		3,000千円		3,000千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(1,710千円)		(1,710千円)		(1,725千円)		(1,725千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[生産物売払収入・地域創生基金])	(2,580千円)		(2,310千円)		(4,725千円)		(3,000千円)
		(一般財源)	(1,710千円)		(1,710千円)		(0千円)		(1,725千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		3,593千円
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		3,078千円
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		219千円
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		296千円	
総コスト(①+②)	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		9,614千円		9,200千円		10,011千円		10,043千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	31年度見込	R2年度目標	最終目標【年度】		
		神戸ビーフ認定率(活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標)	目 標	75	75	75	75	75	
		実績(見込)	82	84	(75)	(75)	【3年度】		
		(単位当たりコスト)	(117千円)	(110千円)	(133千円)	(134千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	109.3%	112.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	神戸ビーフ供給数(地域創生戦略推進事業進捗指標(事業KPI))	目 標	5,500	5,800	6,200	6,600	6,600		
		実績(見込)	5,557	5,383	(6,200)	(6,600)	【2年度】		
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	101.0%	92.8%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸ビーフの海外輸出の拡大に伴い神戸ビーフの需要は年々高まっている。</li> <li>拡大する需要に対応するためには、但馬牛繁殖雌牛の増頭に加え、乳用牛や交雑種の借り腹による受精卵移植を活用した但馬牛子牛の生産拡大が必要である。</li> <li>受精卵移植の体制の確立を図ることにより、生産性向上などが図られ、子牛生産拡大が期待できる。</li> <li>但馬牛子牛の価格は依然高値であることから、乳用牛等への受精卵移植の体制整備支援・普及啓発を強化し、生産拡大による需要に即した神戸ビーフの供給を達成するため、引き続き支援が必要である。</li> </ul>								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		畜産課酪農養鶏班			
事業名		「ひょうごの酪農」生産力アップ推進事業（平成28年度～）			連絡先		078-362-3453			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		R2年度当初予算額	
	事業費①		9,970 千円		9,950 千円		9,977 千円		9,977 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	8,220 千円		8,220 千円		8,220 千円		8,231 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	1,750 千円		1,730 千円		1,757 千円		1,746 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(4,975千円)		(4,988千円)		(4,988千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他〔農林水産施設家畜売払収入、地域創生基金〕）	(1,500千円)		(4,975千円)		(4,989千円)		(1,500千円)	
		（一般財源）	(8,470千円)		(0千円)		(0千円)		(3,489千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			1,807 千円		1,736 千円		1,781 千円		1,797 千円	
	職員給与費 a		1,568 千円		1,563 千円		1,542 千円		1,539 千円	
	賞与引当金繰入額 b		109 千円		110 千円		109 千円		110 千円	
退職手当引当金繰入額 c		130 千円		63 千円		130 千円		148 千円		
総コスト（①+②）		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	
		11,777 千円		11,686 千円		11,758 千円		11,774 千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		31年度見込	
	経産牛1頭あたりの生乳生産量(酪農肉用牛生産近代化計画)		目 標		8,424		8,508		8,593	
			実績(見込)		8,824		8,555		(8,628)	
			(単位当たりコスト)		(1 千円)		(1 千円)		(1 千円)	
			[うち事業拡大分]		-		-		-	
	達成率(見込)		104.7%		100.6%		(100.4%)		(100.0%)	
	大規模経営の酪農家戸数(80頭以上)(農林水産ビジョン2025(活動指標))		目 標		30		33		36	
			実績(見込)		25		25		(25)	
			(単位当たりコスト)		(471 千円)		(467 千円)		(470 千円)	
			[うち事業拡大分]		-		-		-	
達成率(見込)		83.3%		75.8%		(69.4%)		(100.0%)		
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高能力乳用牛導入や優良雌選別精液、高能力受精卵活用による遺伝的改良と同時に、個体能力システム活用への支援による飼養管理技術の改善により、生乳生産量と乳質を向上ができる。</li> <li>・近年、物価の上昇が続くことから、事業に係る経費の単価等も増加したが、大規模化や省力化などによりコスト軽減が図られた。</li> <li>・1頭あたりの生乳生産量は、前年度と比較すると低下したものの当初の目標を達成できた。一方、平成30年度は酷暑の影響によって牛の廃用頭数の増加のため、80頭以上の酪農家戸数は停滞し目標達成できなかったが、R1年度は夏の異常気象がなかったこと、現場での暑熱対策によって状況の改善がみられている。</li> </ul>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		水産課漁場整備班			
事業名		豊かな海再生種苗量産技術開発事業（令和2年度～）			連絡先		078-362-9230			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		-		-		-		6,182千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		-		0千円	
		委託料	-		-		-		6,182千円	
		補助金・交付金	-		-		-		0千円	
		貸付金	-		-		-		0千円	
		その他需用費等	-		-		-		0千円	
	（財源内訳）	(国庫支出金)	-		-		-		(0千円)	
		(県債)	-		-		-		(0千円)	
		(その他)	-		-		-		(0千円)	
		(一般財源)	-		-		-		(6,182千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.1人
			-		-		-		899千円	
	職員給与費 a		-		-		-		770千円	
賞与引当金繰入額 b		-		-		-		55千円		
退職手当引当金繰入額 c		-		-		-		74千円		
総コスト（①+②）		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.1人	
		-		-		-		7,081千円		
[うち事業拡大分]		-		-		-		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	ナマコの種苗生産数 (単位:尾)		目標		-	-	-	25,000	50,000	
			実績(見込)		-	-	-	(25,000)	【4年度】	
			(単位当たりコスト)		-	-	-	-	-	/
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-	-	
			達成率(見込)		-	-	-	-	(100.0%)	
			目標		-	-	-	-	-	
			実績(見込)		-	-	-	-	-	
			(単位当たりコスト)		-	-	-	-	-	/
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-	-	
達成率(見込)			-	-	-	-	-			
評価	<p>・本県瀬戸内海では、水質規制等により水質が大きく改善する中、栄養塩濃度の大幅な低下により貧栄養化が進行しており、養殖ノリの色落ちやイカナゴの不漁、エビやカレイ等底魚類の減少など水産資源への悪影響が顕在化している。</p> <p>・このため、従来から実施してきた資源増強のための種苗放流に加え、漁場環境の改善や生物生産性の回復に効果があると考えられるナマコ等の種苗放流を積極的に行うことで、海底からの栄養塩供給を促し、豊かな海の再生に向けた栽培漁業の新たな役割を果たしていく。</p>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	水産課漁政班			
事業名	漁業人材確保事業（平成28年度～）			連絡先	078-362-3478			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	94,500千円	92,937千円	114,766千円	103,978千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	94,500千円	92,937千円	114,766千円	103,978千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(47,250千円)	(46,468千円)	(57,383千円)	(51,989千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)	(46,469千円)	(57,383千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(47,250千円)	(0千円)	(0千円)	(51,989千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
			904千円	868千円	891千円	899千円		
		職員給与費 a	784千円	782千円	771千円	770千円		
		賞与引当金繰入額 b	55千円	55千円	55千円	55千円		
退職手当引当金繰入額 c		65千円	31千円	65千円	74千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
		95,404千円	93,805千円	115,657千円	104,877千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		新規漁業就業者数/年間(人) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム(目標))	目 標	50	50	50	50	50
		実績(見込)	64	48	(50)	(50)	【毎年度】	
		(単位当たりコスト)	(1,491千円)	(1,954千円)	(2,313千円)	(2,098千円)	/	
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率(見込)	128.0%	96.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	漁船施設貸与数	目 標	10	10	10	10	10	
		実績(見込)	7	10	(8)	(10)	【毎年度】	
(単位当たりコスト)		(13,629千円)	(9,381千円)	(14,457千円)	(10,488千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	[0千円]			
	達成率(見込)	70.0%	100.0%	(80.0%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業就業者は10年前と比較して約23%減少しており、全体の約40%が60歳以上と高齢化が進んでいる。そのため、複合経営等のもうかる水産業への誘導、新規就業者等の初期投資の負担軽減により、次世代を担う漁業者の育成・確保を図る。</li> <li>・ 県漁連や漁協が事業主体となり、浜の担い手漁船リース緊急事業（国庫補助）を実施中であり、本事業と一体的に実施することでコストの低減を図っている。</li> <li>・ 次世代を担う漁業者の育成・確保、複合的な漁業経営モデルの普及を図ることにより、漁業就業者の定着を目指す。</li> </ul>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	水産課漁場整備班			
事業名	ひょうごの豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-9230			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	-		-		2,500千円		2,500千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		0千円		0千円
		委託料	-		-		0千円		0千円
		補助金・交付金	-		-		2,500千円		2,500千円
		貸付金	-		-		0千円		0千円
		その他需用費等	-		-		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	-		-		(1,250千円)		(1,250千円)
		（県債）	-		-		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域創生基金〕）	-		-		(1,250千円)		(0千円)
		（一般財源）	-		-		(0千円)		(1,250千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	-		-		0.5人		0.5人
			-		-		4,453千円		4,492千円
		職員給与費 a	-		-		3,854千円		3,848千円
		賞与引当金繰入額 b	-		-		273千円		274千円
退職手当引当金繰入額 c		-		-		326千円		370千円	
総コスト（①+②）	従事人員	-		-		0.5人		0.5人	
		-		-		6,953千円		6,992千円	
	〔うち事業拡大分〕	-		-		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		豊かな海の普及啓発活動への参加者数/年間(人)	目標	-	-	2,500	2,500	2,500	
		実績（見込）	-	-	(3,000)	(2,500)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	-	-	(2千円)	(3千円)	/		
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
		達成率（見込）	-	-	(120.0%)	(100.0%)			
		目標	-	-	-	-	-		
		実績（見込）	-	-	-	-	-		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-	/		
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
達成率（見込）		-	-	-	-				
評価	<p>・貧栄養化が進む瀬戸内海の現状や、豊かな海を取り戻すための漁業関係者の取組等を広く県民の方々に知ってもらうため、県内各地で地引き網等の漁業体験や漁船乗船体験、出前講座を実施し、実体験を通じて豊かな海の必要性の理解してもらうことで、再生に向けた取組の賛同者を増やしていく。</p> <p>・R元年度は、出前講座等の参加者が想定より増えたことから、目標を上回る実績となる見込み。これにより参加者1名あたりコストは減少し、事業実施効果は高まっている。</p> <p>・R2年度からは、R3年度秋に開催される第41回全国豊かな海づくり大会のPRも併せて実施することで、より効果的な事業展開を図っていく。</p>								
3年目の見直し	-								